

半田市墓地管理計画(案)の概要

1. 計画策定にあたって

1. 策定の経緯と目的

少子高齢化や生活スタイルの変化などにより、永代供養施設への納骨など、「先祖代々引き継ぐお墓を持たない」という選択をする方が近年増加しており、また、お墓を管理する方の不在による「無縁化」や、空き区画の増加などにより、市営墓地全体の維持管理について課題が生じています。

このような課題を解決するため、市営墓地を使用者にとってより快適な施設として整備し、適正な維持管理を行うための基本方針を定めることを目的とし、計画を策定します。

2. 計画期間

当面の墓地施設快適化整備に要する期間などを考慮し、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

2. 市営墓地の現状と課題

1. 市営墓地の概要

名称	所在地	面積(m ²)	区画数
有協墓地	石塚町	3,218	476
北部墓地	平地馬場町	39,913	8,221
乙川一色墓地	乙川一色町	2,554	632
北谷墓地	柗町	25,565	6,065
成岩墓地	桐ヶ丘	9,605	710
黒石墓地	黒石町	8,410	1,916
		合計	18,020

2. 市民アンケート

本計画策定の参考とするため、市営墓地使用者1,600人と市営墓地使用者以外の市民400人に対して、「今後の市営墓地のあり方に関するアンケート調査」を実施しました。

(1)調査項目

世帯構成、満足度、整備や維持管理、合葬墓などに関する12項目

(2)回答数

1,103人(回答率55.2%)

3. 市営墓地の現状と課題

(1)市営墓地の現状

約18,000区画のうち、約16,500区画が使用区画、約1,500区画が空き区画となっています。また、使用区画のうち、約1,660区画は使用者が不明で、無縁となっている可能性があります。

過去10年間でみると、平成26年度以降返還区画が大幅に増加する一方、新規申込は年々減少する傾向にあります。

(2)市営墓地の課題

①無縁化の進行

無縁化の進行により、区画が有効利用されず、雑草の繁茂などにより墓地全体が荒廃したイメージとなり、快適な墓地環境が損なわれます。

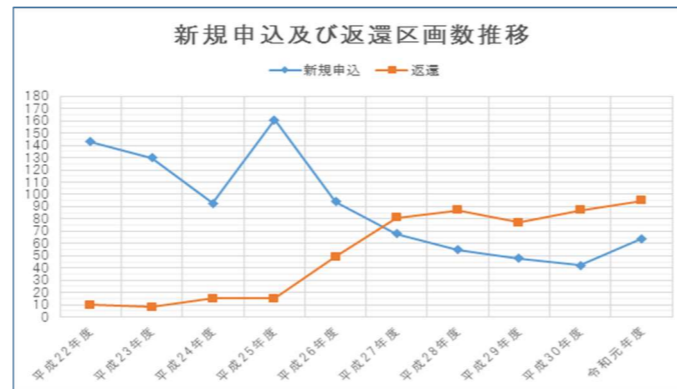
②「お墓」に対する意識の変化

先祖代々管理する個別のお墓ではなく、永代供養施設などの新たな形式のお墓を求める方が増えてきています。

③墓地の維持管理に関する費用について
市営墓地を使用する市民と、使用しない市民との公平性や無縁化防止対策などの観点から、管理料の徴収について検討する必要があります。

④墓地施設の整備について

アンケート調査結果から、今後の市営墓地の整備については、基本的な快適性の向上が期待されていることがうかがえます。



3. 今後の市営墓地のあり方

1. 市営墓地の維持管理及び整備の基本方針

しばらくは新たな墓地の整備や拡張は行わず、墓地に対する意識の変化などに対応しながら、既存の墓地を有効活用するための施設整備や空き区画の再整備を行います。

また、費用負担の適正化や無縁化防止対策の観点から、管理料を徴収します。

(1)維持管理の基本方針

- ①区画を適正に管理し、使用者が快適に利用できるよう、無縁化防止対策、計画的な無縁区画や空き区画の再整備、適度な樹木剪定や雑草処理を行います。
- ②市営墓地を使用する市民と、使用しない市民との費用負担に関する公平性の観点から、墓地の維持管理に要する費用の一部として、管理料を徴収します。

(2)整備の基本方針

アンケート調査の結果や墓地ごとの現状を踏まえ、安全性や基本的な利便性、快適性を向上させるための整備を行います。また、合葬墓を設置します。

2. 各墓地における維持管理及び整備の方針

(1)有協墓地

「現状を維持しながら基本的な安全性や快適性を確保します」

(2)北部墓地

「利便性や快適性をより向上させるための整備を行います」

(3)乙川一色墓地

「現状を維持しながら基本的な安全性や快適性を確保します」

(4)北谷墓地

「利便性や快適性をより向上させるための整備を行います」

(5)成岩墓地

「当面は現状を維持するための維持管理を行い、将来的な墓地の有効利用について検討します」

(6)黒石墓地

「基本的な安全性や快適性を確保しながら、必要に応じて施設の快適化などの整備を行います」